

行事開催報告

〔地盤工学委員会〕

No.

(行事名) 防災展 2018in 世田谷

主催：東京都

協力：土木学会_地盤工学委員会_斜面工学研究小委員会

日時：2018年1月21日（日）11:00-16:00

場所：二子玉川ライズギャラリー（東京都世田谷区玉川2丁目21-1）

参加者数：全体来場者 8,712名（東京都発表）、

土木学会ブースで模型実験参加者 230人（アンケートによるカウント）

ショッピングモールの通路のような場所で、防災展が開催された。通行する人に対して、33ブースで展示・体験が行われた。防災を地盤の観点から説明しているのは、土木学会と地質調査業協会だけであった。土木学会では「がけ崩れ・地すべりがなぜおきるのか？どうふせぐのか？」について、模型を使い体験学習をしてもらった。ブースを訪れる人は、小学生以下の子供とその両親が多く、ほとんど途切れることがなかった。子供とその両親は模型を動かしたり触れてみることで、災害の発生原因や対策工法に興味を持ったようである。防止対策の写真（法枠・アンカー支圧板など）を見せることで、斜面工学が社会に役立っていることをアピールした。



プレゼン内容：2 題目

1. 雨が降ると山が崩れる模型による説明
2. 崖崩れの発生と対策 模型による説明

斜面工学研究小委員会参加者

鈴木素之・藤井俊逸・岩佐直人・後藤聡
吉川修一・伊藤和也・荒木功平

以上